

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立西成高等学校
取り組む課題	D 生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	・進級卒業率の向上 ・わかりやすい授業との評価向上 ・学校満足度の維持向上 ・不登校の減少
計画名	『勉強嫌いが学校好きになる学校づくり—にしなり学 LAB』事業

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の中期的目標	<p>1. Competency（コンピテンシー）を育てる</p> <p>「Less is More」=知識量は少ないとしても、より豊かな学びにつながる。</p> <p>一小中学校時代の学習の躓きを取り戻すためにも、厳選された学習内容が重要である。各教科における知識・理解を厳選し将来性との最適地点を探求する。</p> <p>○「N-Time」（1年次ステップ・スクールとしての必履修科目）・「にしなり学」設定科目群（2・3年次ステップ・スクール必履修科目）を通じて、学校文化ともなるオンラインの学びを実践する。</p> <p>○生徒の「学習力」向上のため、学習に対する自己評価を積極的に活用したアセスメントをおこなう。</p> <p>○多面的な評価方法の開発で生徒の学習意欲を伸ばす。</p> <p>○リテラシーの育成に留意し、易しい日本語による授業を行う。</p> <p>○また、多様なルーツの生徒への学習指導として、思考言語に留意する。</p> <p>○地域連携本部を中心に校内外の連携により、生徒の職業観・勤労観の自覚を育てる。</p> <p>○1年次のアルバイト支援、2年次のインターンシップを通して、段階的・実践的な職業教育を実施する。</p> <p>○1年次の「N-TIME」において、SCの協力のもとソーシャルスキル・トレーニングを取り入れる。</p> <p>○定着支援にも重点をおく。</p> <p>○R4学校経営推進費事業「生徒を勇気づけるキャリアステージ計画」（地域協働キャリアセンター構想）を活用して整備を進めた「地域協働キャリアアリアセンター」の取組みにより、地域と連携し、生徒の社会参加を促進する。</p> <p>2. 「地域連携」「地域協働」を育む</p> <p>校務運営委員会を「地域連携本部」と位置づけ、あらゆる学校業務を地域連携として実行する。西成教育サポート連絡会を中心に近隣の義務制学校に指導と支援の方法を学び、学習保障を行う。</p> <p>○「産業社会と人間」「N-TIME」「総合的な探究の時間=チャレンジ」の取組みを「にしなりフェスタ」で報告する。</p> <p>○地域連携本部のもと、インターンシップなど生徒の校外活動を積極的に支援する。</p>

	○「地域まるごとエンパワー」をめざし、令和7年度スタートのオンラインの学び「にしなり学」指定科目群を実現する。
事業目標	<p>①地域連携・地域協働の推進により、生徒の学びの動機づけを行う。それを通じて学びの主体である生徒の自信を回復する。</p> <p>②西成高校における Only One の学びにふさわしいアセスメントの充実を図る（アセスメント LAB によるあらゆる教育活動や福祉的側面へのアセスメントの開発を行う）。</p> <p>※アセスメント LAB とは校内におけるアセスメントにかかる研究組織</p> <p>③校内 10 教科による「にしなり学」設定科目群の学びを実現することで、生徒にも地域にも自信と活力を生み出す。</p>
整備した設備・物品	<p>①「靴づくり工房」の電源工事（動力電源配線一式）</p> <p>②にしなり学 LAB 整備 整理棚 10、作業ミーティング兼用机</p> <p>③e スポーツコース新設（任天堂 Switch 5台、コントローラー 20台 ソフト一式）大型テレビ</p> <p>④にしなり学（スポーツコース・和太鼓）長胴太鼓一式、桴 20組</p> <p>⑤ネットワーク型カラーインクジェットプリンター（A3 対応）</p>
取組みの主担・実施者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携本部事務局（首席を事務局長とする運営委員会と同じメンバー、R6 年度発足済み） ・NAC（西成高校一步前委員会：教頭を委員長とし、教務学習・生徒指導・広報企画・生徒会保健の 4 課長、こども人権室・生徒生活支援室・進路保障室の 3 室長を基盤に推薦委員で構成） ・アセスメント LAB（校長を委員長に教務学習課員及び参加希望者で構成 現在 SC 1名、実習教諭 1名、教諭 1名）
本年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先進校視察（東京都立川チャレンジスクール、福岡県立花高校）。 ○ NAC（西成高一步前委員会）及び地域連携本部において、新校のカリキュラムを実際に運用するための研修及び実験（オープンスクールでの体験授業または出前授業として実施）。 ○ アセスメント LAB において、東京外国語大学と連携してステップスクール 1 期生の「リテラシーのチカラ」を測定し、教育活動全般の基盤について研究方向づけを行った。 ○ 従来の「エンパワ発表会」を改編し「にしなりフェスタ」を 1 月に実施し、令和6 年度の生徒の取組みについて発表する機会を設けた。
成果の検証方法と評価指標	<p>■ 1年生から2年生への進級率（進級者/入学者）：90% ※R5 84.5%</p> <p>■ 学校満足度：90% ※R5 90.1%</p> <p>■ 授業が分かりやすい肯定感：90% ※R5 89.1%</p> <p>■ 卒業率：70% ※R5 68.6%</p>
自己評価	<p>■ 1年から2年への進級率（進級者数/入学者数）95.1%（目標 90%）</p> <p>令和6 年度 1 年生はステップスクール 1 期生として多様な学びに取り組んだ。中でも新たな取組みとして N-TIME の授業を実施し、ソーシャルスキルトレーニングの講座では SC にも参加していただき充実した内容の授業を実施することができた。目標を達成しており、十分な取組みができたと評価している。……………【○】</p> <p>■ 学校満足度 90.6%（目標 90%）</p>

	<p>例年、次項目の授業がわかりやすいかに比例しており、授業への取組みが学校満足度にも影響していると思われる。引き続き、アセスメントをベースとした授業展開を行う。 【○】</p> <p>■授業がわかりやすい肯定率 90.1%（目標 90%） 1年生の肯定率は 93.7% と特段に高く、モジュール授業などにおける教員の授業の工夫が結果に現れた。 【○】</p> <p>■令和 6 年度 3 年生の卒業率（卒業者数/入学者数）76.4%（目標 70%） 本事業による取組みの成果もあり、目標を上回ることができた。 【○】</p>
次年度に向けて	<p>①ステップスクール 1 期生が 2 年生になり、にしなり学をスタートさせる。 ②本事業で整備した e スポーツも開講する。 ③多様な生徒が学ぶ学校として、授業や評価のあり方について、さらなる研究を進める。 ④地域と連携した取組みを充実させるとともに、本事業において整備したにしなり学 LAB を十分に活用し、充実した内容の授業を展開する。 ⑤本事業において整備した物品を活用し、魅力ある授業を展開する。また、地域連携の形を模索しながら、イベント等での生徒の学びの機会を創出する。 ⑥先進校の視察を行い、本校の教育活動の参考にするとともに、人材育成の側面も併せて行う。</p>

3. 事業費報告

今年度事業費総額	2,746,894	円
----------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
2 旅費	1	先進校視察	¥40,000	10	¥400,000
	2				
	3				
				小計	400000
3 消耗需用費	1	整理棚ラック	¥30,415	10	¥304,150
	2	桴	¥1,960	20	¥39,204
	3	任天堂switch	¥37,983	8	¥303,864
	4	コントローラー	¥4,070	30	¥122,100
	5	ネットワーク対応インクジェットプリンター	¥71,830	1	¥71,830
	6	インクカートリッジ	¥5,189	11	¥57,079
	7	ソフトウェア式	¥4,675	21	¥98,175
				小計	996402
8 備品購入費	1	長太太鼓一式	¥361,350	2	¥722,700
	2	ワークテーブル	¥109,450	1	¥109,450
	3	移動式大型モニター	¥134,321	2	¥268,642
				小計	1100792
9 工事請負費	1	靴づくり工房電源工事	¥249,700	1	¥249,700
	2				
	3				
				小計	249700
				合計	¥2,746,894